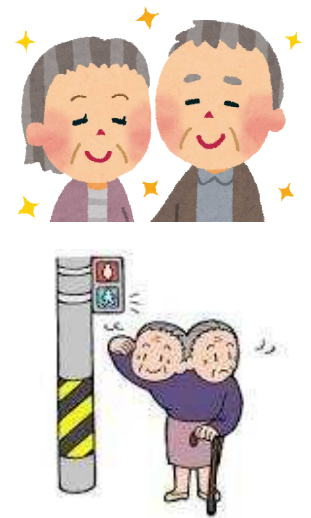
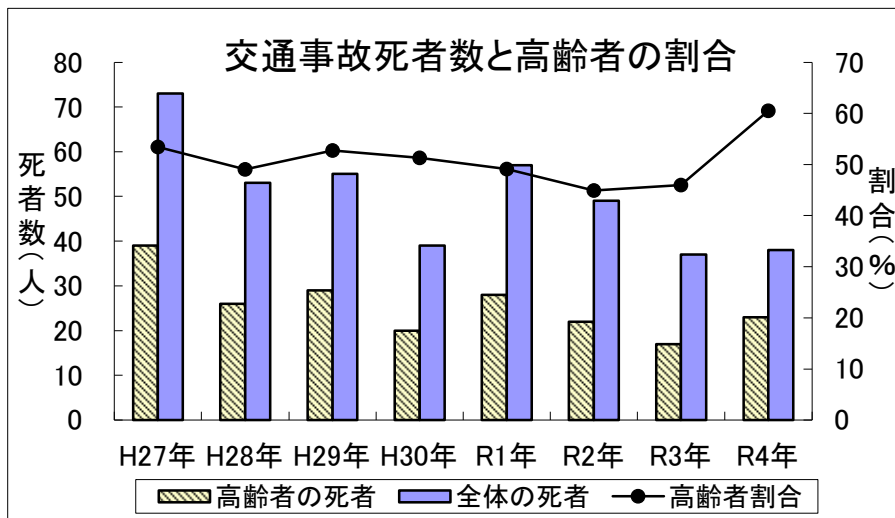
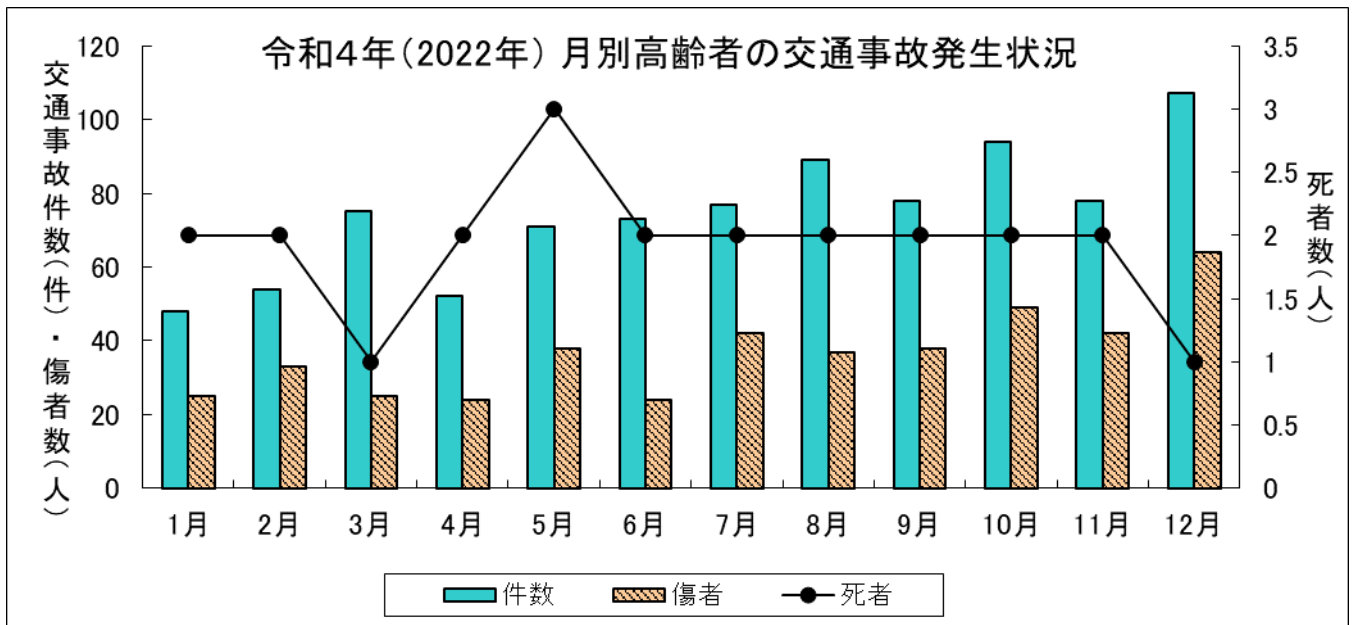


地域ぐるみで 高齢者の事故防止を！



令和4年(2022年)中は、交通事故死者数 38 人のうち 65 歳以上の高齢者は 23 人で、全体の約 60%を占めています。高齢者死者の割合は高率を占めており、ここ数年で最も高い割合となっています。



上のグラフは、「令和4年(2022年) 月別高齢者の交通事故発生状況」を表したものです。事故件数は、**12月が一番多く**、次いで10月が多くなっています。これからの季節は、早く日が暮れます。夕暮れ時間帯や夜間に出かける時、歩行者や自転車利用者は、明るい色の服装や、反射材を身につけましょう。また、死者数は、**歩行中が10人で最も多く**、次いで**自転車乗用中が6人**でした。

高齢者の交通事故をなくすには、地域ぐるみで具体的な行動を起こすことが何よりの対策です。町内会等の会合で少しの時間をさいて、**高齢者の交通事故防止を話題にしたり、高齢者が交通事故に「あわない・起こさない」ため、町内の危険箇所やヒヤリとした体験を話し合ったり、自動車の特性や交通事故状況等の知識を学んだりする**などの行動を起こすことで、地域全体の危機意識を高め、悲惨な交通事故を防止しましょう。

